

言語活動の充実を図るための実践事例

【春日部市教育委員会】

- 1 学校、学年、教科 小学校、全学年、算数
- 2 ねらい 言語活動の充実を図ることで、児童の算数的な表現力や思考力を育成する。

3 取組内容

(1) ノート指導

- ・学習の進め方（問題→課題→見通し→実行→まとめ→練習）に沿って、全校でノートの書き方を統一している。全校で共通理解を図ることで、学年が上がっても指導が一貫されるため、児童は迷いなくノートに書くことができ、学習の流れが定着すると考えている。
- ・式だけではなく、数や図、言葉で説明を書くように指導している。多様な表現で説明させることで数や式の意味理解につながり、また、多様な表現方法で説明できると相手を納得させる手段が広がり、学び合いを深めることができる。

算数の時間に自分の考えをつたえよう

1個40円のリンゴと1個15円のミカンを3個ずつ買いました。何円はらえばよいですか。

絵や図を使って伝えよう

40 40 40 15 15 15

$40 \times 3 = 120$ $15 \times 3 = 45$ $120 + 45 = 165$

※問題の様子を絵や図にしてみよう。もっとわかりやすくなるよ。発表を聞いている友だちにもわかりやすくなるよ。

式で伝えよう

① $40 \times 3 + 15 \times 3 = 165$
リンゴ3個のねだんとミカン3個のねだんをたす。

② $(40 + 15) \times 3 = 165$
リンゴとミカンの1個のねだんを合計してから3倍する。

※問題の通り式を書いてみよう。式を通して、自分の考えをみんなにわかってもらえるね。考え方によってあらかず式がかわることがあるんだね。

一辺が1cmの正三角形の紙を一列に並べます。正三角形の数が増えるとまわりの長さはどのようにかわりますか。

表やグラフで伝えよう

正三角形の数(個)	1	2	3	4	5	...
まわりの長さ(cm)	3	4	5	6	7	...

※きまりを見つけるには、表を使うと便利だね。表を書くとき、新たな見方や発見のチャンス！ 変化の様子もわかるよ。

98×6の計算のしかたを説明しよう。

言葉で伝えよう

①一の位の8に6をかける。8×6だから48。一の位に8を書く。
②十位の9に6をかける。9×6だから54。4をくりあげて58。
③百の位に5、十の位に8と書いて、答えは588。

※自分がどのように考えたかをわかるように説明してみよう。言葉にまとめると、自分の考えがもっと見えてくるよ。言葉の力ってすごいね。

明さんは色紙を84枚、妹は56枚持っています。2人の色紙を等しくするには、明さんが何枚妹にあげればよいでしょうか。

線分図や数直線をかいて伝えよう

明 84

妹 56

※問題の様子を直線で表してみよう。読みながらかくと、上手にかけよう。線分図や数直線をかいたら、「どこを答えていいか」考えよう。

友達に自分の考えを伝える時は、声に出して何回も練習してみよう。練習するうちに、自分の考えに自信が持てるようになるよ。どんどんみんなの前で発表することができるようになれば、あなたは「発表名人」です！ 算数が得意になることまちがいないし！ さあ、今日からチャレンジ！！

考え方カード (高学年)

(2) 発表の仕方

まずは、自分の考えをわかりやすく説明できるように、話型をもとにして発表するように指導している。そして、学年が上がるにつれて、できるだけ自分の言葉で説明できるように支援している。

4 台風が時速25kmで進んでいます。この台風が、沖縄県の石垣島から那覇市までの400kmを進むのにかかる時間を求めましょう。

課題 時間の求め方を考えよう。

見通し 25 を使、て求める。

実行 言葉の式

式 $25 \times \text{時間} = 400$ $\text{時間} = 400 \div 25 = 16$

式 $25 \times \text{時間} = 400$ $\text{時間} = 400 \div 25 = 16$

数直線 25 400

式 $400 \div 25 = 16$ 時間

まとめ 時間は、道のり÷速さという言葉の式で求められる

実際の児童のノート(6年生)

(3) ペア、グループ学習

- ・自力解決ができれば、自分の考えを隣の児童に説明するペア学習の時間を設けている。ノートを見せながら、順序を示す言葉「まず」「次に」「そして」や、考えた根拠がわかる言葉「～だから」「～ので」「なぜなら」等を用いながら説明できるようにする。また、式や数の意味、考えの根拠等を考えさせるために、聞いている側から説明者に質問をさせるようにしている。全体の前で発表する前段階としてペア学習を設けることで、自分の考えや発表に自信を与えることができると考えている。



ペア学習（6年生）



グループ学習（5年生）

- ・式（または図）だけを見せて他の児童に考えさせたり、ある児童に途中まで説明させて続きを他の児童に説明させたりするなどの工夫で、学級に多様な考え方の共有を図り、思考力を高めている。
- ・高学年では、出てきた考えからよりよい考えや一般的な考えに高めていくために、グループで話し合う時間を設けている。その後、各グループで話し合った考えを教師がまとめていき、価値を高めていく。

(4) 振り返りカードの取組

- ・終末のまとめの後に、振り返りカードを記入する時間を設けている。学年に応じて、振り返りの視点（学習の理解、既習の活用、伝え合い）を与え、自己評価をさせている。
- ・今日学んだことを自分の言葉でまとめるようにしている。授業では教師と児童で学習内容をまとめるが、もう一度児童に自分の言葉でまとめさせることで本時の学習を理解しているかどうか教師が児童を評価できる。また、教師からのコメントは児童の次時への励みにもなっている。

単元名	分数をもっと知ろう①				
月日	学習したこと	今日の学習はわかりましたか。	今までの学習を生かしましたか。	考えを伝え合うことができましたか。	今日の学習をふりかえろう
11/10	同じ大きさの分数の性質とつくり方がわかる。	☺☺☺	☺☺☺	☺☺☺	たこの等しい分数を見つめるときは、わり算を使って式に表すとできる。分子と分母に同じ数をかけるとわり算と同じ。
11/11	「約分」の意味と約分の仕方がわかる。	☺☺☺	☺☺☺	☺☺☺	分母と分子をそれぞれ公約数で割ると、分母が小さい分数になること。約分ということを知りました。

振り返りカード（高学年）

4 成果と課題

○少しずつではあるが、児童が自分の考えをノートに記述したり友達に説明したりする姿に、自信をもって表現している様子が見られてきた。ペア学習では説明するか聞くかのどちらかになるので、相手の考えを理解しようと熱心に聞いている児童が多くみられた。

※相手を意識してわかりやすく表現するためにはどうしたらよいか児童に考えさせていき、さらに表現を高めていきたい。また、他教科との関連や評価の工夫について研究を深めていきたい。